

国立 国会 図書館

月報

NATIONAL
D I E T
LIBRARY
MONTHLY
BULLETIN
2021.10



洋書を追いかけて（前編）

帝国図書館時代、洋書はどのように集められたか

本をまもる 保存・修復の道具

新連載 国立国会図書館で働いています Season2

国立
国会
図書館
月報

NO. 726
OCTOBER 2021

CONTENTS

- 1 『鬼桃太郎』——若き紅葉の児童文学
今月の二冊 国立国会図書館の蔵書から
- 5 洋書を追いかけて（前編）
帝国図書館時代、
洋書はどのように集められたか
- 17 本をまもる 保存・修復の道具②
塗る、はる
- 26 国立国会図書館で働いています Season2 no.1

- 16 館内スコープ
今日も広報誌でふるさとへ
- 25 本屋にない本
『飛脚問屋嶋屋佐右衛門日記の世界』
- 30 NDL TOPICS



表紙：
『巴里絵日記』から「帽子屋」
橋本邦助 著 博文館
明治45 22cm
<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/903655/13> (モノクロ)

『鬼桃太郎』——若き紅葉の児童文学

亀澤明彦



鬼桃太郎 (幼年文学 第1号)

尾崎紅葉 著、大橋新太郎 編輯 博文館 1891 15枚;
23cm <https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1874221>

『鬼桃太郎』は明治期の代表的な作家、尾崎紅葉の作品である。同じく明治期に活躍した日本画家の富岡永洗による不気味な装画にはそぐわず、無邪気にも『幼年文学』という名がつけられた児童文学叢書の第一号として、これもまた明治期の新興出版社の博文館から明治24(1891)年に刊行された本書は、まさしく明治中期の出版界を象徴するものだと評するにふさわしいのかもしれないが、表紙から漂う不穏な空気はそうした軽薄な饒舌を禁じているかのようである。

おそろおそろ目を向けなおすと、ふと赤く書かれたタイトルの奇怪さに気づく。なぜ「も、たろう」の頭に「鬼」が冠せられているのか。そつとページをめくると、再び永洗による物々しい鬼らしきものの扉絵が出現え、さらにめくると、そこに江戸時代の草双紙を思わせる光景が現れる。なるほど「むかしむかし翁は山へ柴刈に」と書き出された冒頭は、ひろく親しまれている昔話「桃太郎」と同じ展開を予感させる。だが、そのまま読み進むと、人はその予感に反して不意に物語の迷路をさまようことになるだろう。「桃太郎、猿雉子犬を引率してこの鬼ヶ島に攻来り、累世の珍宝を分捕りなし、勝矜らせて還せし事、この島末代までの恥辱なり」——ここから始まるのが、『鬼桃太郎』という「桃太郎」



1 大きな苦桃から生まれた「苦桃太郎」。その大きさはなんと一丈五尺（約5m）。



尾崎紅葉（1868-1903）

明治期の作家。明治18年大学予備門在学中、山田美妙らと硯友社を結成し、機関誌『我楽多文庫』を発行。22年『二人比丘尼色懺悔』が出世作となり、同年読売新聞社に入社。以後同紙に『伽羅枕』（1890）、『多情多恨』（1896）などの作品を発表。30年に連載が開始された『金色夜叉』は、病没のため未完に終わった。泉鏡花など多くの門弟の育成にもつとめた。

肖像の出典：電子展示会「近代日本人の肖像」

<https://www.ndl.go.jp/portrait/datas/249.html>

の後日譚であり、「鬼」の「桃太郎」劇なのである。

今日の表現を借りれば二次創作とでもいえるかもしれないが、当時まだ24歳の紅葉にとってみれば、おそらく江戸時代の戯作の手法にも倣いつつ「桃太郎」を換骨奪胎せしめたものであろう。鬼をしてなけば倒錯的に桃太郎を演じさせるその悪戯な筆遣いには、随所で彼の不実な笑みが滲みでているようではない。

『鬼桃太郎』の物語は、「桃太郎」をいびつに反復する。

桃太郎に右の角を折られ不治の病を患う元門衛の鬼とその妻は、世に疎まれひっそり暮らしている。ある日、「桃太郎奴が若衆首と、分捕られたる珍宝を携え還らむもの」を新しく鬼ヶ島の王にするという王鬼のお触れに、鬼の夫婦は「此時なり」と名譽挽回を意気込む。ところが、二人の間には子どもがおらず、妻は「桃太郎二倍なる武勇の子」を夜叉神に祈ることにする。

参籠して三七日の夜、水際に大きな苦桃が流れてくる。妻が持ち帰って割ると、たちまち「紅皿のごとき口を開き、爛々たる火焰を吐く」其長一丈五尺の青鬼が現れる（1）。

夫婦はその鬼に「苦桃太郎」と名乗らせ、桃太郎を征伐することを懇願する。「易き事かな」と苦桃太郎は、きび団子のかわりに「人間の鬮籠の付焼」を携えて、桃太郎のところへ出発する。

道中、苦桃太郎は「金色の毒龍」に遭遇する。桃太郎の家臣の雉子一族によって類縁の蛇たちが被害に遭っていることに「此遺恨報へさばや」と思っていた毒龍は随行を請い、苦桃太郎と鬮籠で主従の契りを結ぶ（2）。さらに毒龍は、桃太郎の猿と犬に対抗して「白毛朱面の大狛」と「牛かと思紛ふばかりの狼」を呼び寄せる。苦桃太郎は鬮籠を一つずつ両者に与え、一行は毒龍が出現させた黄雲に乗って「西遊記の絵のごとく」向かう（3）。

しかし、膨大な距離を行きつ戻りつ飛び回るばかりでさっぱり辿りつかない。一行は大海の上で途方に暮れ、次第に毒龍の魔力も弱まっていく。雲はあちこちで「古綿のごとく」ちぎれ、やがて狛と狼はその隙間から海に落ち、鰐に食べられてしまう。これに激怒した苦桃太郎は毒龍に襲いかかり、両者は雲の上の喧嘩となる。その末、ついに毒龍は引き裂かれ、たちまち魔力が解けて雲が消える。苦桃太郎は「足場を失ひ、小石のごとく真一文字に舞下りて、漫々たる大海へぼかん！」（4）。



2 苦桃太郎はきび団子のかわりに「人間の觸體の付焼」で毒龍、狒、狼とそれぞれ主従の契りを結ぶ。



3 毒龍が出現させた黄雲に乗って、桃太郎のもとへ向かおうとする苦桃太郎一行。しかし一向に辿りつかない。



4 ついには苦桃太郎と毒龍が喧嘩してしまう。毒龍の魔力が解けて雲が消え、苦桃太郎は海へ真つ逆さま。



巖谷小波 (1870-1933)

明治・大正期の童話作家。『少年世界』を創刊、『日本昔噺』『世界お伽噺』などもまとめる。童話の口演にも力を注いだ。

肖像の出典：巖谷小波 著『小波お伽全集 第1巻』小波お伽全集刊行会 昭和3 <https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1259714/4>



『桃太郎』表紙。

巖谷小波 述、東屋西丸 記『日本昔噺 第1編』博文館 明治27<請求記号 特47-673>

明治20年代より胎動する近代児童文学において、昔話「桃太郎」は時代と特異な関係を結びはじめた。『鬼桃太郎』刊行3年後の明治27(1894)年には、紅葉とともに硯友社同人であった児童文学の開拓者の巖谷小波により『日本昔噺』第一編として『桃太郎』が出されている。同じく富岡永洗の挿絵が添えられ博文館から出版された本書は、冒頭で「昔より有り触れた物」を「事新しく書き立て」と述べられてはいるも、現代から読むとやはり時代的な影響がみられる。「只今此処へ天つ神の御使、大日本の桃太郎將軍、征伐の爲めに日向ひ賜ふ」と雉子が鬼ヶ島に向かつて叫ぶところなど、国家意識が社会的に形成されてゆく明治期に書かれた「桃太郎」としての真面目な性格が強く表れ、今日からは遠く離れているように感じられてしまう。

一方、『鬼桃太郎』は、たしかに今ではあ

まりなじみのない文語体で書かれているけれども、いざ読んでみると、そうした時代的な制約など感じさせることもなく、怪しげな表情で読者を誘惑し、散りばめられた言葉のなかへスリリングに引き込む力を持っているように思われる。それは——単に物語の奇怪さというよりも——「桃太郎」につきまとう時代の勸善懲惡と軽やかに戯れ、ナンセンスな言葉を子どもたちにも楽しませようとする、若き紅葉の温かくも悪戯心のある教育的な身ぶりなのかもしれない。

ところが、この『鬼桃太郎』が収められた『幼年文学』シリーズは、次の『猿蟹後日譚』までしか続かず、わずかに二号で終わっている。当時の子どもたちには不評だったのだろうか、どうやら売れ行きはよくなかったらしい。

○参考文献

- 菅忠道 等編『日本児童文学大系 第1巻』三一書房 1955<請求記号 918.6-N691>
 - 滑川道夫「尾崎紅葉 鬼桃太郎」『日本児童文学館 名著複刻』解説書 ほるぷ出版 1971<請求記号 KH6-23>
 - 土佐亨「解説 尾崎紅葉」『日本児童文学大系 4 (幸田露伴・尾崎紅葉・江見水陸・泉鏡花集)』ほるぷ出版 1978<請求記号 Y7-6287>
 - 東雅夫「編者解説」『文豪妖怪名作選』東雅夫編 東京創元社 2017<請求記号 KH6-L1014>
- ※引用の旧字は新字に直しました。



洋書を追いかけて（前編）

帝国図書館時代、 洋書はどのように集められたか



国立国会図書館では、国内の出版物の網羅的収集に努めています。一方、外国資料に関しても、国政審議や学術的調査・研究に資する資料、日本関係資料などを中心に、各国政府刊行物、国際機関刊行物なども収集しています。令和2（2020）年度末の和漢書の所蔵は約885万点、洋図書約288万点でした。これらの資料には、昭和24（1949）年に帝国図書館（当時の国立図書館）や衆議院・参議院の議会図書館から引き継いだ資料が多くあります。

本稿では帝国図書館時代の洋書に焦点をあて、さらに、明治時代からのこれらの洋書を引き継いだ国立国会図書館草創期に注目して、当館の洋書収集の歴史を追いかけてみたいと思います。

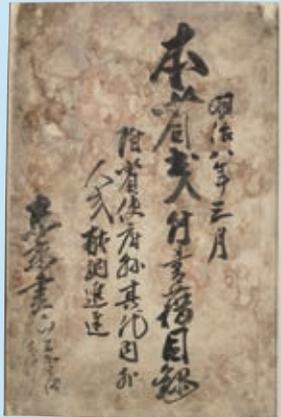
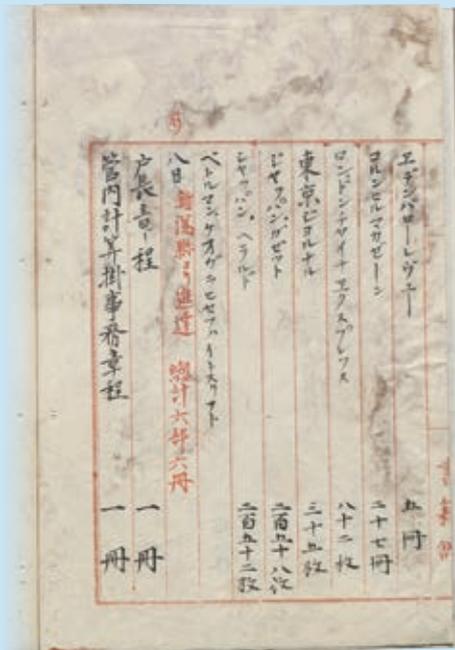
（齋藤ひさ子、辻佑果、曾木颯太郎）



左は帝国図書館の書庫、それ以外の本ページの写真は
国立国会図書館関西館書庫棟



東京書籍館時代



『本省交付書籍目録』東京書籍館 明治8年3月<帝文-605>
明治8年3月2日から8月3日までに文部省、宮内省、新潟県、秋田県、御雇外国人などから受け入れた書籍、雑誌、新聞等について記されています。

帝国図書館の系譜

明治5(1872)年	書籍館
明治6(1873)年	書籍館、太政官博覧会事務局と合併
明治8(1875)年	東京書籍館
明治10(1877)年	東京府書籍館
明治13(1880)年	東京図書館
明治18(1885)年	東京教育博物館と合併(湯島から上野に移転)
明治22(1889)年	東京図書館官制公布(ふたたび独立)
明治30(1897)年	帝国図書館
昭和22(1947)年	国立図書館
昭和24(1949)年	国立国会図書館 支部上野図書館

洋書収集のはじまり — 東京書籍館ゼロからの再出発 —

帝国図書館の系譜は、文部省に書籍館明治5(1872)年)として創設以来、名称の変遷を繰り返しましたが、組織の所属も太政官、文部省、東京府、ふたたび文部省というように、様々な変遷がありました。そして明治30(1897)年に帝国図書館(昭和22(1947)年)が誕生しました。

書籍館は昌平坂学問所 和学講読所 大学校の旧蔵書等、約11万冊を蔵したときれていますが、太政官博覧会事務局と一度合併し、再び文部省東京書籍館として分離する際、旧蔵書の大部分は博覧会事務局浅草文庫)に残されました。したがって、今日に至る蔵書の形成は、東京書籍館の開館に始まると言えるでしょう。

明治8(1875)年の東京書籍館の開館に際し、文部省は約1万冊の和漢洋書を交付しましたが、それは日々増加する利用者に対しては不十分なものでした。また「当館所有ノ書籍ハ、過半、英・仏・独ノ三語ニシテ、実ニ和漢ノ書ニ乏シ」と記されるように、また洋書の比率の高いものでした。そのため、館当局は本省にまず和漢書の不足を訴え、旧藩校蔵書や国内新刊書等の交付、宮内省か

ら京都御文庫の和漢書の貸与を受けるなど、その整備に努めました。一方、洋書についても「現在館内備置洋書類ハ(中略)、然ルニ当今有用必須之博物・物理之書籍ニ至テハ、其大略モ備ハラザル様」と、理科系洋書の必要を説き、館の総予算が約6000円〜8000円の当時に、5000円という破格の英書購入費を得て、当時文部省の米國留学生の監督として滞米中であつた目賀田種太郎(1853-1926)に委託して現地購入をはかりました。これが当館の外国資料蔵書の基盤を形成したとされています。

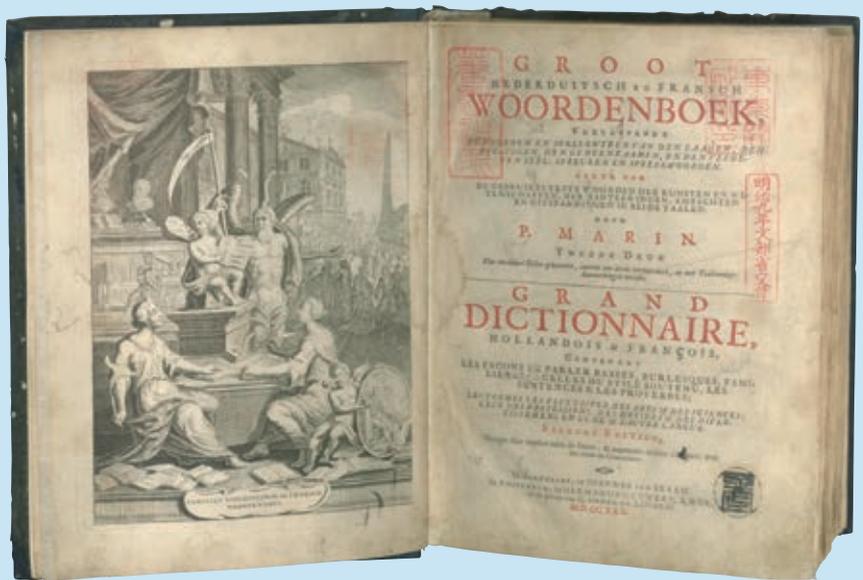
また明治9(1876)年には東京開成学校から江戸幕府旧蔵蘭書約6400冊余が交付されました。これらは戦後、幕末期の日蘭交流史上極めて重要な資料群である事が判明し、学界を驚かせました(次ページ参照)。そのほか、ともに薩摩藩英國留学生であつた鯨島尚信と東京書籍館館長畠山義成の旧蔵書(次号に関連記事を掲載予定)や、御雇外国人など内外有志の寄贈がありました。次ページのグラフからは開館当初、他省庁からの交付、移管等により、短期間に多くの資料が収集されたことがうかがわれます。

※本稿では明治5年の書籍館以来、昭和24年に当館の支部上野図書館となるまでの期間を総称して便宜上、「帝国図書館時代」とします。また本稿で示す「洋書」とは、英米独仏語を中心とする欧文資料を指します。

鎖国時代、長崎を經由して輸入されたオランダ語の図書は、西洋文化の手がかりとして大変貴重なものでした。しかし、開国から明治維新の時期には蘭学は洋学にとってかわられ、英語が主流となり、オランダ語は顧みられなくなりました。かつての幕府の洋学研究機関「蕃書調所」は、開設に際して幕府の紅葉山文庫や天文台旧蔵の洋書を移管され、多くのオランダ語の図書を所蔵していましたが、その後、洋書調所、開成所、東京開成所、大学校、大学南校などと様々に変遷、「東京開成学校」であった明治9年、江戸幕府旧蔵蘭書6400冊余を東京書籍館に移管しました。

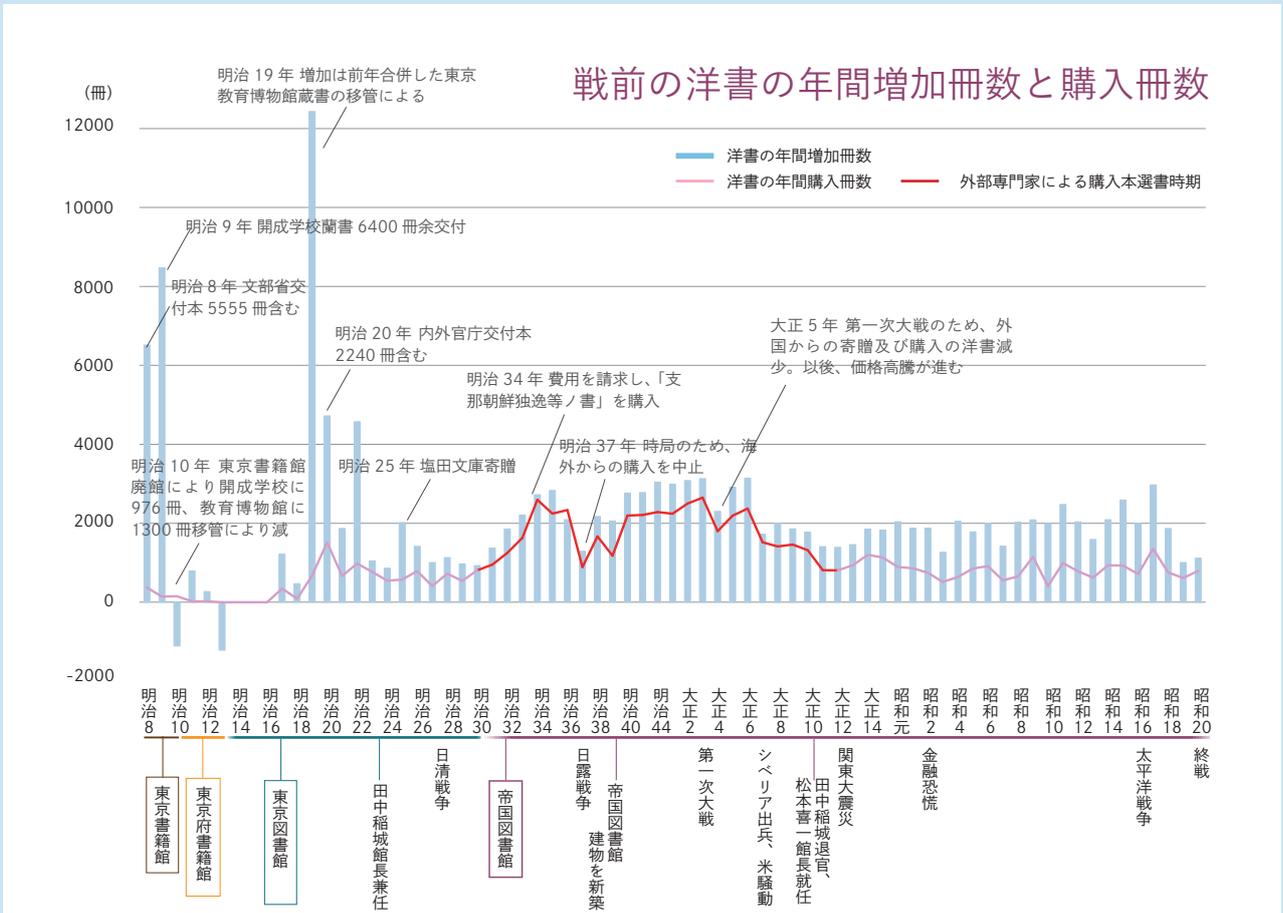
本書は文化13(1816)年、幕府天文方高橋景保が宇田川玄真から入手したもので、後に紅葉山文庫に納まり、蕃書調所に移管され、東京開成学校を経て当館に引き継がれたものです。

参考文献：電子展示会「江戸時代の日蘭交流」<https://www.ndl.go.jp/nichiran/index.html>、石山洋「国立国会図書館所蔵明治前舶来洋書の意義について」『国立国会図書館月報』262号 1983.1<Z21-146>、朝倉治彦、石山洋「蕃書調所旧蔵蘭書簡記」『上野図書館紀要』1 1954<Z21-159>

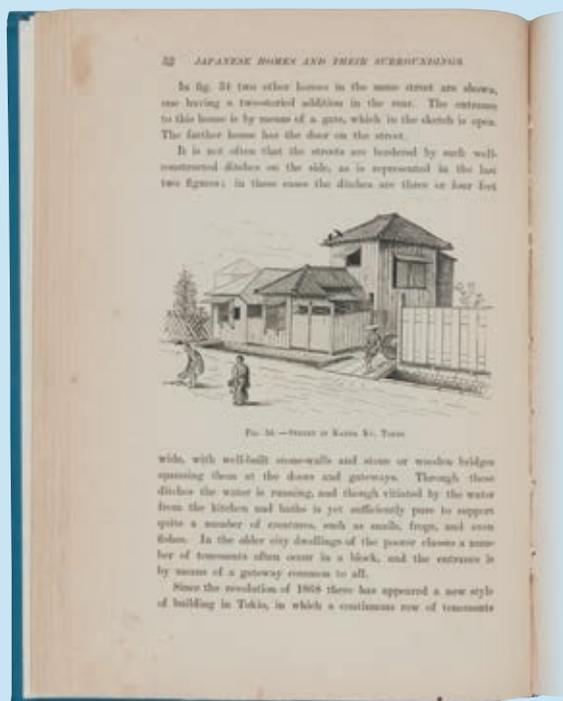


マーリン『蘭仏辞書』上巻

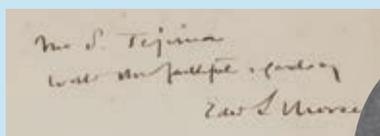
Marin, Pieter. *Groot nederduitsch en fransch woordenboek*... by Joannes van Braam, 1730<蘭-84>



参考文献：陶山国見「蔵書構成の実態調査およびその評価計画について」『図書館研究シリーズ』16、『帝国図書館年報』。
*増加冊数は「帝国(国会)図書館蔵書統計(年別)」の前年比を採用しました。明治14～16年の洋書増加冊数の算出、明治13年～16年の購入冊数の採取はできませんでした。



エドワード・モース (Edward Sylvester Morse 1838-1925) は大森貝塚の発見者であり、日本に進化論を普及した御雇教師として知られています。モースの日記には明治10年7月頃、上野公園内教育博物館を視察したことが記されています。当時の教育博物館長補は手島精一(1849-1918)でした。本書は、日本民俗に魅せられたモース自らのスケッチ307点をちりばめ、家屋とそこに住む人々を紹介したものです。モースが手島に贈ったもので、献辞が記されています(下画像)。



Edward S. Morse, *Japanese homes and their surroundings*, Ticknor and company, 1886<A-41>
モース著。手島精一寄贈本。明治19(1886)年納付。

帝国図書館時代の「収集方針らしきもの」

洋書の収集は、東京図書館時代になると新たな局面を迎えます。洋書はどのように集められたのか、各時代の記録をみていきましょう。最初に記載があるのは、東京図書館明治13年報です。「将来須要の件」に、「最モ欠乏スル所ノ者ハ洋書ニシテ(中略)但其今日ノ必需ニ係ル者及ヒ大部ニシテ己人ノ私用ニ購得シ難キ者ヲ以テ主ト為シ」とあり、個人では買いくい高額の洋書購入に努めるといふ、館としての意見を打ち出しています。明治18年報の「将来須要ノ件」第五「はずばり」洋書ノ蒐集」です。「理科ニ関スル者ノ如キハ學術ノ進歩ニ從ヒ(中略)務メテ日新ノ書籍ヲ備ヘ」と記しています。なお、この年は東京教育博物館と合併した事が、コレクションを大いに発展させました。同館の洋書は蔵書数が1万冊余あり、自然科学関係および19世紀後半の各分野の基本図書が充実していたので⁽¹⁰⁾。一方で、通俗書や教科書類も多く含まれ、重複本も多数発生しました。東京図書館明治19年報の「蔵書の件」には、「学芸参考ニ供スベキ者ノミヲ蒐集セント欲スレドモ従来ノ蔵書中及ヒ新ニ官民ノ寄贈

スル者ニ至テハ或ハ其性質ニ適セザル者少シトセズ(後略)」と、学術的なものを優先したいが、思うに任せぬ様子が記されています。しかし同20年報には、あらためて「爾後益々高等ナル図書ヲ蒐集シテ学芸著述家ノ参閱ニ資シ」と、学術的価値の高い資料を集めることを謳っています。続いて、明治22(1889)年公布の東京図書館官制、第一条には「各種ノ図書ヲ蒐集保存シ」とされていた点が、明治24(1891)年に、「内外古今ノ図書記録ヲ蒐集保存シ」と改正され、新刊書や古典籍と共に洋書を収集し、保存することが明記されました。これは明治23(1890)年に就任した館長田中稲城が欧米を範として、日本に本格的な国立図書館の実現を図ったものであると⁽¹¹⁾言われています。田中稲城は明治21(1888)年から図書館学では初めての留学生として欧米に1年半学びました。その後東京図書館長となり、我が国随一の図書館学者として帝国図書館の設立に尽力したことで知られています。明治29(1896)年、第9回帝国議会に田中が提出した「帝国図書館設立案」は、国家が図書を保存する責任や、図書館は国民の大学であるといつた主張とともに、「外国ノ智識ヲ取テ我進



東京図書館外観



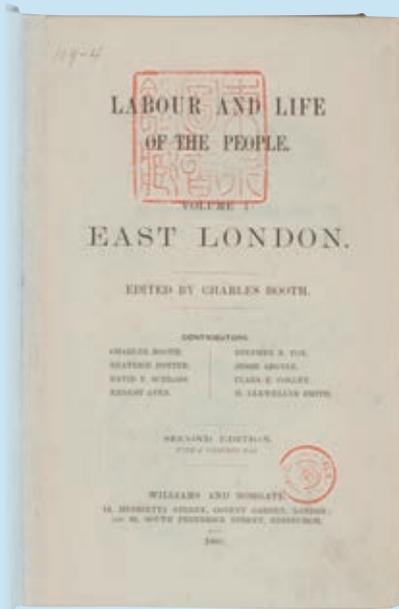
いなば

田中 稻城 (1856 - 1925)

明治 - 大正時代の図書館学者。安政3 (1856) 年1月6日生まれ。岩国市出身。東京大学文学部卒。明治21 (1888) 年欧米に留学。帰国後帝国大学教授兼東京図書館長。30 (1897) 年、帝国図書館初代館長となる。日本文庫協会 (現日本図書館協会) の設立にも尽力した。

(参考: 日本人名大辞典、図書館情報学用語辞典)

Labour and life of the people



明治時代、海外の書籍は世界の情報への窓口の1つでした。遠くヨーロッパで話題になった本が時を置かずに入ってくることもしばしばでした。本書はそのひとつ、受入印によると「明治24年購求」とあり、刊行からほどなくして入手したことが分かります。イギリスの海運業者で社会改良家だったチャールズ・ブース (Charles Booth 1840-1916) は19世紀末ロンドンの労働者の生活状況を17年にわたって調査し、本書を含む一連の報告書として刊行しました。巻末に付された貧困状況を色別に示した地図が今日でもよく知られています。調査結果は後の社会福祉の発達に大きな影響を与えたことが知られています。

Charles Booth, *Labour and life of the people*, Williams and Norgate, 1889-1891<331.8-B725L2>

(左) 標題紙 (下) 貧困状況を色別に示した地図。赤は中流階級、青から黒にかけては貧困層を示しています。

参考文献: パット・セイン著、深澤和子、深澤敦監訳『イギリス福祉国家の社会史 経済・社会・政治・文化的背景』ミネルヴァ書房 2000<EF4-G20>



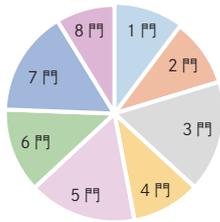
歩ニ資スルニ必要ナリ」として、国民が日々進歩する世界の事情に通じるためには洋書が必要であること、個人では買えないような「殊ニ高価ナルモノ浩翰ナルモノ」は国がそなえるべきであることなどを主張しています。帝国図書館最後の館長であり、国立国会図書館開館後も長く収集業務に従事した岡田温 (1902 -

2001) は、「旧上野図書館の収書方針とその蔵書」(昭和36 (1961)) の中で、「帝国図書館設立案」に示された、「外国書は専門書を旨とし、しかも個人では買えないような高価で浩翰なものを専らとする」という「収書方針らしき」田中の思想が、その後長きにわたり受け継がれ、外国資料が収集されたことを述べています。



洋書の分類ごとの割合

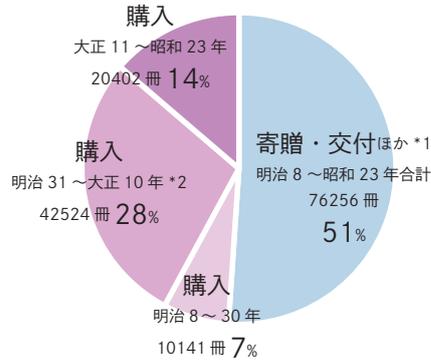
(昭和22年時点)



- 1門 神書・宗教
- 2門 哲学・教育
- 3門 文学・語学
- 4門 歴史・伝記・地誌・紀行
- 5門 国家・法律・経済・財政・社会・統計学
- 6門 数学・理学・医学
- 7門 工学・兵事・美術・諸芸・産業
- 8門 総記・雑書・随筆

洋書全体を分類別にみると、比較的バランスよく収集していたことがわかります。

洋書全体に占める購入冊数の割合



洋書の約半数が購入資料で、専門家による選書資料が多数を占めたことがわかります。

- * 1 洋書総数から購入総数を減じて算出。寄贈、交付、移管などで収集した冊数と、他機関への移管などで減じた冊数の合算に相当。
- * 2 館外専門家に選書調査を依頼した時期。

購入資料の充実と主なコレクション

明治30(1897)年、帝国図書館が設立され、年度あたりの総経費額は前年の約1万円から2万円台に拡大し、図書購入費は2000円台から数年のうちに1万円台に、洋書購入冊数も1000冊以下から、2000冊を超えるまでに急増しました⁽¹⁾。明治31(1898)年から大正10(1921)年は館外専門家に選書調査依頼をした時期で、日本政治学の創始者小野塚喜平次、統計学で有名な高野岩三郎のほか、河上肇などの錚々たる顔ぶれでした。

岡田は帝国図書館時代の洋書の収集の特徴を次のように紹介しています。

- ・大正期までは英語を主とし、原著が独仏伊露語でも英訳を中心に集められた。
- ・19世紀末から20世紀初頭の人文社会科学関係の洋書は比較的よく集められていると定評を得ており、それは田中帝国図書館長が東大教授時代の同僚に外国書の選定を依頼した結果であると伝えられている。

・大正中期中に科学技術方面の収集の為に

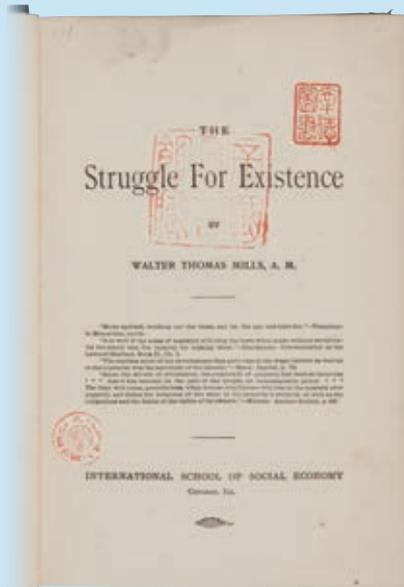
理学士高橋好三を司書官として迎えた。高橋は科学技術他、各方面の収集業務を担い、人文社会科学方面においても、従来の独仏伊露語の著作の英訳主義を廃し、原書主義に転じた。

岡田はこれらの特徴を示したうえで、「今日から見るととき意外と思われる程の専門書が多い」と述べています。

次に、購入資料が外国資料全体に占める割合を見ましよう⁽²⁾(右ページグラフ参照)。国立図書館昭和23年度年報の洋書総数は14万9323冊、明治8(1875)から昭和23(1948)年の洋書購入冊数合計は7万3067冊でした⁽³⁾。多くの寄贈、交付、移管等を受けた明治中期以前の購入冊数が、洋書総数に占める割合は7%、帝国図書館として予算が拡大し、外部専門家が選書調査した明治31年から大正10年が28%、大正11(1922)年以降、関東大震災、太平洋戦争、価格の高騰など外国書購入が困難な時期は14%でした。

田中館長時代に専門家により集められた良質な洋書は、帝国図書館時代のうち量的にも大きな割合を占めているといえるでしょう。

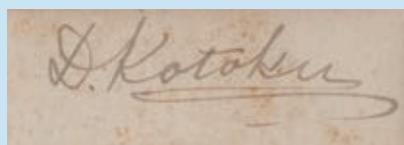
The struggle for existence



古い洋書をひもとくと、時折あっと驚く出会いがあります。社会主義関連の著作である本書は一見ごくごく普通の洋書です。しかし、表紙をめくって見返しを見てみると「D.Kotoku」の署名と「幸徳図書」の蔵書印に気づきます。旧蔵者は社会主義者の幸徳秋水（伝次郎）（1871-1911）だったとみられます。明治42（1909）年に帝国図書館が古書店から購入した書籍に、幸徳の売却した本書が混ざっていたものと考えられます。古びた装いの本書を手にとると、100年以上前にこの本を読む秋水の姿にしばし思いが巡ります。



参考文献：中林隆明「個人文庫展の周辺 - その1-」『参考書誌研究』27 1984.3 <https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/3051181>



Walter Thomas Mills, *The struggle for existence*, 8th ed, International School of Social Economy, c1904<62-119>

左から標題紙、幸徳秋水の署名、蔵書印。



Die Grundlage der allgemeinen Relativitätstheorie

本書を含む一連の論文により、アルベルト・アインシュタイン（Albert Einstein 1879-1955）は一般相対性理論を確立しました。本書が購入された大正11（1922）年の11月にはまさにアインシュタインの初来日を実現、日本全国で一大ブームが巻き起こりました。そうした時代を反映してか、この時期には相対性理論に関する書籍やアインシュタインの著書を相次いで購入していることが当時の記録から分かります。

参考文献：金子務 著『アインシュタイン・ショック 第1部（大正日本を揺がせた四十三日間）』河出書房新社 1991<GK429-E9>



A. Einstein, *Die Grundlage der allgemeinen Relativitätstheorie*, J.A. Barth, 1916<530.1-E35g>

菊池寛はまだ若かったころ、翻訳の仕事で使っていた洋書を電車に置き忘れてしまい、帝国図書館の蔵書に頼ったことがありました。また、江戸川乱歩も作家として名を成す以前、映画監督を志望し映画関係の本を帝国図書館に読みに通いました。これらの洋書は現在、国立国会図書館関西館書庫棟に納められています。本誌2013年9月号「文人たちの手にした洋書」、2019年6月号「乱歩と活動写真」もぜひご覧ください。

See also.....



帝国図書館 新築時の外観

このほか、明治以来収集された中で特筆すべき洋書の資料群には、日本、東洋に関する海外の刊行物「日本函」(総数約5000冊)があります。日本関係の外国資料は、日本の国立図書館として現在でも重点的に収集しています。

このほかに特筆すべき資料群には、「教育函」(約6000冊)や、第二次大戦中に購入した個人文庫である「白井文庫」新成文庫「千葉文庫」等があります(15ページ参照)。

なお明治44年(1911)、外務省から米国スミソニアン協会の国際交換事業を引き継ぎましたが、戦前は日本の研究者・研究機関と海外の相互交換の橋渡しが主な目的で、帝国図書館自体の資料収集のためのものではありません⁽¹⁰⁾でした。

Spanish influenza (pan-asthenia) its cause and cure

シアトル在住の医師によるスペイン風邪についての論説で、治療法や流行状況、当時の感染対策の失敗について論じています。当館の所蔵するスペイン風邪に関する資料の中でも最も古いものの一つです。本書が購入された大正9(1920)年、日本ではスペイン風邪はいまだ収束しきってはいませんでした。流行の記憶がはっきり残る中で、スペイン風邪への関心の高さがうかがえます。

Spanish influenza (pan-asthenia) its cause and cure, The Washington printing co., c1919<227-122>

参考文献: University of Washington Libraries <https://digitalcollections.lib.washington.edu/digital/collection/pioneerlife/id/28228/>



El ingenioso hidalgo Don Quijote de la Mancha



表紙や小口に金が使われ、豪華な装丁。

『ドン・キホーテ』は初版(1605-15刊)以来、幾多の版が数えられますが、本書は異版40種の優れた要素を集結した「決定版」です。バルセロナ王立文芸アカデミーのJuan Givanel y Mas(1868-1946)が校訂、Ricardo Balaca y Conseco(1844-80)、及びJosé Luis Pellicer y Fener(1842-1901)の挿絵をそれぞれ別版から採用、巻頭にはスペインの誇る文芸史家Miguel de los Santos Oliver y Tolrá(1864-1919)によるセルバンテス評伝80ページ余を掲載しています。国際的にも評価されました。帝国図書館も刊行翌年の昭和6(1931)年に購入しました。

El ingenioso hidalgo Don Quijote de la Mancha, compuesto por Miguel de Cervantes Saavedra, edición según el texto de Francisco Rodríguez Marín ..., Montaner y Simon, S.A., 1930<Sg-23>

荒野を行くドン・キホーテとサンチョ・パンサ。

参考文献: 石山洋「稀本あれこれ(245)」『国立国会図書館月報』312号 1987.3<Z21-146>

F. Brinkley, *Japan : described and illustrated by the Japanese ; written by eminent Japanese authorities and scholars*, J. B. Millet Company, 1897-1898<Sd-38>



Japan

イギリス人ジャーナリストのフランシス・ブリンクリー (Francis Brinkley 1841-1912) が、日本の文化を海外に紹介するため、日本の歴史や文化から政治経済に至るまで各分野の学者や研究者に執筆を依頼して作成しました。日本の風景や建築、史跡、日常生活の一コマを切り取った写真が多数掲載されており、その中には 350 人以上の彩色技術者が手作業で彩色したカラー写真も含まれています。各章の冒頭に掲載されている花の写真は、当時最先端の写真印刷技術であったコロタイプ印刷の日本における第一人者、写真家小川一真によるものです。明治 32 (1899) 年に購入されています。

日本函

Bushido

明治 33 (1900) 年に購入された資料です。著者の新渡戸稲造 (1862-1933) が、ベルギーの学者ド＝ラブレールから、学校で宗教教育を受けない日本人がどのように道徳を身につけるのかと質問されたことがきっかけで執筆されました。封建制度と武士道が日本人の道徳観の基礎であると考えた新渡戸は、本書の中で道徳体系としての武士道について概説し、「義」「誠」「忠義」等の武士道精神についても分かりやすく解説しています。この本は世界で評判になり、様々な言語に翻訳されました。増補 5 版 <C-53c> の巻末には、雑誌・新聞に掲載された書評がまとめられており、当時の評価をうかがい知ることができます。

Inazo Nitobe, *Bushido; : the soul of Japan, an exposition of Japanese thought*, Leeds & Biddle, 1900<C-53>



Terry's Japanese empire



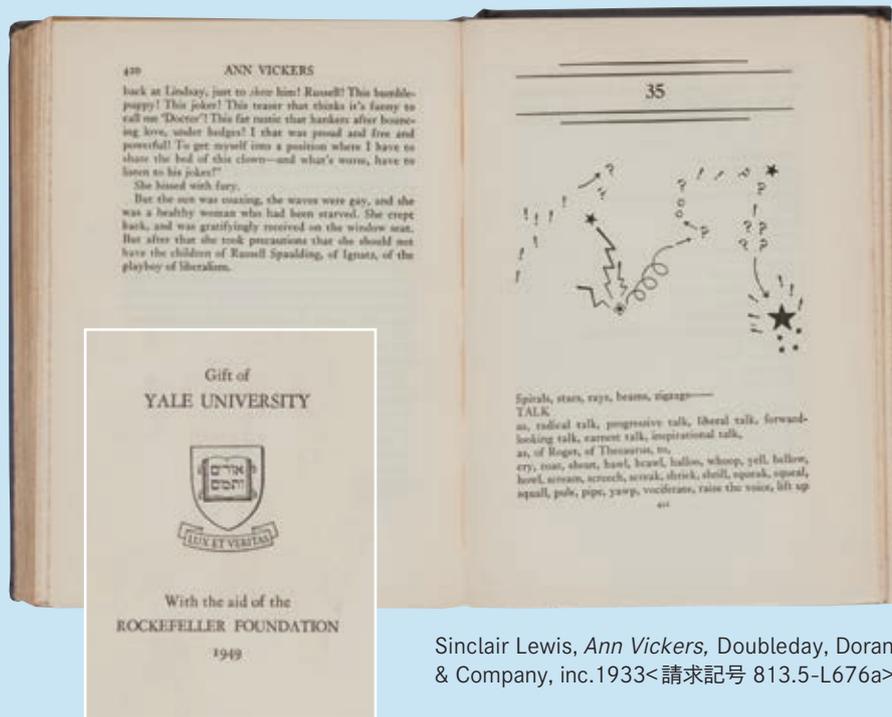
大正 3 (1914) 年に購入された、外国人向けの日本旅行ガイドブックです。著者はアメリカ人で王立地理学会会員のトーマス＝フィリップ・テリー (Thomas Philip Terry 1864-1945) です。日本政府が外国人観光客誘致を目的として出版したものではなく、外国人の視点で書かれた日本ガイドであることが特徴です。本書の前半では、交通手段や通貨、言語等旅行のための基本情報に加え、日本の文化や芸術、宗教、歴史、天皇の系譜等を 285 ページにわたって解説しています。後半は地域ごとに章立てがなされ、合計 54 種類の旅程と、観光地に関する詳細な情報が 799 ページにわたって掲載されています。上野公園周辺を取り上げた章では、見どころとして帝国図書館も紹介されています。

T. Philip Terry, *Terry's Japanese empire, including Korea and Formosa, with chapters on Manchuria, the Trans-Siberian railway, and the chief ocean routes to Japan...*, Houghton Mifflin company, 1914<Ca-35>

参考文献：赤井正二「旅行ガイドブックのなかの「見るに値するもの」-『公認東亜案内』日本篇と『テリーの日本帝国案内』の 1914 年」『立命館産業社会論集』45(1) 2009.6<Z6-386>、内田宗治著『外国人が見た日本 「誤解」と「再発見」の観光 150 年史』中央公論新社 2018<DK261-L585>

アメリカで初めてノーベル文学賞を受賞したシンクレア・ルイス (Harry Sinclair Lewis 1885-1951) の1933年の小説で、社会活動家の女性アン・ヴィッカーズの人生遍歴を追った作品です。ロックフェラー財団からの寄贈図書です。これら寄贈図書のうち文学書はイェール大学が選書しており、ルイスのほか、エミリー・ディキンソンやヘンリー・ジェームズらアメリカを代表する文学者の著作が多く含まれています。また、社会科学書はコロンビア大学等が選書を担当しました。当時の副館長中井正一(1900-1952)はロックフェラー財団からの寄贈図書を前に「美味佳肴に囲繞せられて箸を下し迷うに似た心地」であると、やっと新しい洋書を手にできることへの喜びと安堵に心を弾ませています。

参考文献：斎藤忠利「一九三〇年代以降のシンクレア・ルイス」『一橋論叢』84(5) 1980.11<Z3-104>、中井正一「国会図書館新着洋書」『人間』5(3) 1950.3<Z905-N6>、「新着洋書リスト」『読書春秋』1(1) 1950.4<Z21-155>



Sinclair Lewis, *Ann Vickers*, Doubleday, Doran & Company, inc. 1933<請求記号 813.5-L676a>

■参考文献

陶山国見「蔵書構成の実態調査およびその評価計画について」『図書館研究シリーズ復刻』16 1974.12<Z79-B153>、岡田温「旧上野図書館の収書方針とその蔵書(国立国会図書館の収書 第二部 歩み・研究)」『図書館研究シリーズ復刻』5 1961.12<Z79-B153>、中井隆明「上野図書館における洋書の形成について」『転換期における図書館の課題と歴史 石井敦先生古稀記念論集』緑蔭書房 1995 pp.143-155<UL51-G2>、『上野図書館八十年略史』国立国会図書館支部上野図書館 1953<016.11-Ko5488u>、『国立国会図書館百科』出版ニュース社 1989<UL214-E6>、庄野新「国立国会図書館の洋書 - その成り立ちのあらまし」『国立国会図書館月報』300号 1986.3 pp.2-13<Z21-146>

■注

※帝国図書館時代に「洋書」と記述・区分される中には相当数の製本雑誌、欧文で書かれた国内刊行出版物(辞書、対訳など)を含みます。後者の中心をなす内務省交付本の洋書は終戦までに約1万冊程度と推定されています。中井 p.154

1 岡田 p.199

2 『上野図書館八十年略史』p.30, 39 註二

3 『上野図書館八十年略史』p.39 註二、広瀬淳子「学習院が所蔵する華族会館旧蔵洋書について 忘れられた華族会館寄贈図書(その2)」『人文』10巻 2011<Z71-M19>

4 明治8年3月から文部省交付。9月出版条例発布後は内務省交付

5 『上野図書館八十年略史』p.30, 39 註二

6 『帝国図書館年報』<UL214-3>p.6 東京書籍館明治8年報、p.16 明治9年報

7 前掲『帝国図書館年報』p.10 東京書籍館明治9年報 明治9年2月交付

8 現在、確認されているのは約3600冊。安江明夫「『蘭書』発見記補遺」『参考書誌研究』79 2018.3<Z21-291>

9 前掲『帝国図書館年報』p.33

10 中井 p.150、庄野 p.4

11 西村正守「上野図書館ごぼれ話(下)」『日本古書通信』40巻6号 1975.6 pp.10-11<Z21-160>

12 中井 p.150

13 岡田 p.202

14 中井 p.151、陶山 資料編 pp.39-40「資料二 ハ：図書購入費と図書購入冊数の変遷(甲図書)」

15 陶山 資料編 p.18「資料一 ハ：選書調査依頼者一覧」

16 岡田 p.210

17 前掲『帝国図書館年報』、pp.424-425 国立図書館昭和23年度年報

18 前掲注14 陶山 ※ 明治13-16年の東京図書館購入冊数、及び昭和23年国立図書館の購入冊数は採取できませんでした。

19 岡田 p.212

戦後、国立国会図書館の草創期は、購入費不足やGHQの貿易統制などにより、新刊洋書の購入は困難だったため、外国資料の収集は、コレクション的なまとまりのある資料群の購入と、内外からの寄贈・移管等が基本となりました。主な購入資料は「満鉄東亜経済調査局旧蔵本」、「中西文庫」等です。購入以外ではロックフェラー財団、イギリス出版協会などからの寄贈、衆議院・貴族院両図書館旧蔵本の移管があり、アメリカ政府刊行物をはじめとする国際交換の資料群も

ありました。当館が主要国際機関刊行物のデポジトリ・ライブラリーになったのもこの時期です。これらが国立国会図書館の洋書の蔵書形成の再出発点となりました(次ページ参照)。

輸入事情も徐々に緩和された昭和29(1954)年、国立国会図書館は「図書館資料収集要領」を制定し、その中で「選択的図書」の「図書館資料購入の重点」は「新刊の外国図書、外国雑誌」に置くという明確な方針を打ち出しました。これは洋書購入政策の大きな前進でした。「収集方針らしきもの」から組織的収集へと変化し、新たな時代の収集が展開していきました。

国立国会図書館開館—新たな出発

国立国会図書館の特色ある洋書の資料群

(帝国図書館時代から昭和 42 (1967) 年度までに整理されたもの) *0

資料群	受贈/購入年	冊数	概要と参考文献
日本関係 (旧函架 A ~ F「日本函」)*1	1875-1944	5000	欧文で書かれた日本及び中国関係図書。『国立国会図書館所蔵日本関係欧文図書目録 (支部上野図書館旧蔵分)』<016.952-K79cu>
鮫島文庫	1875, 1881	530	鮫島尚信 (1845-80) 旧蔵書。法律・政治関係書。「鮫島文庫目録稿」『参考書誌研究 30』。
江戸幕府旧蔵蘭書	1876	3600	『江戸幕府旧蔵洋書目録』1957<018.1-R196l>、『江戸幕府旧蔵蘭書総合目録』日蘭学会 1980<GB381-25>
畠山文庫	1877	919	畠山義成 (1842-76) 旧蔵書。政治史、歴史学古典、語学・文学書。「畠山文庫目録」『参考書誌研究 29』。
塩田文庫 (旧函架 G ~ K)	1892	784	塩田三郎 (1843-89) 旧蔵書。概ね英書。宗教、哲学、法律、政治、他多岐に亘る。語学関係書の目録に「塩田文庫語学関係図書目録」『参考書誌研究 24』
教育函 (旧函架 250 ~ 299 函)	1892-1949	6400	1892 年から 1949 年 3 月までに受入れた教育関係書。年報類、主要国政府の教育行政関係報告書等も含む。
W.Wood 社 (旧函架 L,M)	1893 頃	未詳	ウィリアム・ウッド社 (William Wood: 米国医書出版社) からの寄贈書が多くを占める。
大型函 (旧函架 S,W)		725	大型本。
図書館蔵書目録類 (旧函架 100, 101 函)		未詳	図書館蔵書目録・カタログの類。
ドイツ寄贈図書 (旧函架 317 函)	1940	691	ドイツ政府寄贈図書。社会科学、人文科学。Katalog der Geschenkbücher des Deutschen Reichs 21. November 1940 (Anhang zum Bulletin of Books Added to the Imperial Library of Japan, Vol. X X X III, No.4, Oct.-Dec., 1940. 『帝国図書館報』第 33 冊第 11・12 号付録 (1941. 9))
白井文庫 (特 1)	1940-1942	1256	白井光太郎 (1863-1932) 旧蔵書。植物、動物、博物。全国屈指の本草コレクション。
新城文庫 (特 2)	1943	1033	新城新蔵 (1873-1938) 旧蔵書。天文・物理関係。
小川文庫	1943	166	小川琢治 (1870-1941) 旧蔵書。西洋古版本、地理・地誌関係書。
千葉文庫	1945	450	千葉勉 (1883-1959) 旧蔵書。英語学、英文学。
宮田文庫	1945	487	宮田脩 (1874-1937) 旧蔵書。婦人研究。
満鉄本 (特 6 ~ 特 27)	1948	22000	南満州鉄道株式会社東京支社東亜経済調査局旧蔵本 (満鉄本)。1900 年代はじめから 1930 年代までの政治、外交、経済、植民、産業関係。冊数は雑誌を除く。
碓氷文庫 (特 28)	1948	279	碓氷厚次 (1888-1978) 旧蔵書。簿記、会計学、銀行論、貨幣論、金融関係。
森文庫 (特 29)	1948	404	森文三郎 (1889-1977) 旧蔵書。租税、財政学、統計学。
佐田文庫 (特 30)	1947-1948	657	佐田弘治郎 (1875-1952) 旧蔵書。社会思想・社会運動関係書、ナチズム・ファシズム関係、ロシア・ソヴィエト関係。
井川文庫 (特 31)	1948	300	井川忠雄 (1893-1947) 旧蔵書。経済・産業・財政・法律、日本関係書も含む。
特 32 ~ 特 41		未詳	特 32- 山本栄一、特 33- グレセット (Gressitt)、特 34- 有松昇、特 35- タッピング (Topping)、特 36- 大津留聡、特 37- 渡井、特 38- 松平、特 39-CIE、特 40- 映画協会、特 41- 新聞出版用紙割当事務所
衆議院本	1948	5800	衆議院図書館旧蔵書。19 世紀末から 1930 年代中頃の議会政治、法律関係書。1890 年頃から 1948 年頃の衆議院図書館が受入れた洋書。『衆議院図書館図書目録』(昭和 15 年末現在) <UP111-474>
参議院本	1948	3831	貴族院図書館旧蔵書。19 世紀末から 1930 年代中頃の議会政治、法律関係書。1890 年頃から 1948 年頃の貴族院図書館が受入れた洋書。
中西文庫	1948	2000	中西寅雄 (1896-1975) 旧蔵書。古い経済学関係書、マルクス主義経済学の貴重書等。
支那文庫	1948	2473	中国経済文化研究会 (藤山雷太設立) 所属文庫旧蔵書。中国の歴史、民俗、風俗、思想、言語等。『支那文庫所蔵洋書分類目録 昭和 17 年 9 月末現在』1943<016.9151-C559s>
内藤文庫	1948	478	内藤智秀 (1886-1984) 旧蔵書。中央アジア、中東、イスラム関係書。
中野文庫	1949	572	中野登美雄 (1891-1948) 旧蔵書。憲法その他法律関係書。
ロックフェラー財団	1949-1953	5500	社会科学専門学術書、文学書、スラブ関係書。『Catalogue of books donated by the Rockefeller Foundation = ロックフェラー財団寄贈図書目録』<017.1-K79c>
イギリス出版協会	1950	2000	「英国出版業者選択図書展覧会」(1949 年 10 月 丸善開催 英国大使館、英国出版協会後援) の全展示図書
播磨文庫	1953	1200	播磨椿吉 (1883-1952) 旧蔵書。中央アジア関係ロシア語資料。『播磨椿吉旧蔵書目録』1960<016.914-Jk79h>
幣原平和文庫 (洋書)	1954-1960	4100	幣原喜重郎 (1872-1951) を記念する幣原平和財団収集資料。平和問題関連図書。
読書週間記念文庫	1954, 1955	979	「世界を結ぶ出版展覧会」に出品された外国の優れた書籍。
L 函 (法律コレクション)	1948-1967	未詳	1948 年 4 月 ~ 1967 年 12 月に整理した法律関係書。DDC の 340 に相当する分類に L を付した。
能勢文庫	1959	550	能勢寅造 (1902-57) 旧蔵書。ロシア語を主とする政治・外交問題、ロシア・ソビエト関係書。『故能勢寅造氏遺贈図書目録』<029.9-Ko548k>
芦田文庫	1959, 1961	2000	芦田均 (1887-1959) 旧蔵書。国際政治関係洋書。『故芦田均氏寄贈図書目録』<029.9-Ko548k2>(1959 受贈分のみ)
ドイツ政府寄贈書	1962	570	ドイツ政府寄贈書。政府・議会出版物、叢書、全集、参考図書、法律関係書。『ドイツ政府寄贈書展 解説と目録』<Y111-132>*2
中山コレクション	1962	663	中山省三郎 (1904-47) 旧蔵書。ロシア文学、ロシア古典文学を網羅。
江木文庫	1964	未詳	江木翼 (1873-1932) 旧蔵書。「江木文庫洋書分類目録」<731-110>(『立憲民政党政務調査館図書件名目録 第 1 輯』巻末付録)
住友文庫	1965, 1966	未詳	住友寛一 (1896-1956) 旧蔵書。宗教、美術、文学関係書、聖書等。

*0 昭和 43 (1968) 年以降、洋書の整理に NDLC が適用されました。本表掲載の資料は、貴重書等一部を除いて国立国会図書館関西館で所蔵しています。*1 旧函架のうち請求記号の函がアルファベットの資料は「日本函」、「ABC 函」、「ローマ字函」等と呼ばれています。日本関係資料は A ~ F のみです。*2 ドイツ政府寄贈書：国立国会図書館月報 27(1963.6) に詳しい解説目録があります。

■肖像の典拠 ●手島精一、田中稲城：国立国会図書館編『国立国会図書館三十年史』国立国会図書館 1979<UL214-7> ●モース：イー・エス・モース 著 [他]『日本その日の日 (上)』科学知識普及会 昭和 4<597-156> ●幸徳秋水：林茂『近代日本の思想家たち 中江兆民・幸徳秋水・吉野作造』岩波書店 1958.2 (第 9 刷：1998.10) <A22-G38> ●アインシュタイン：桑木或雄『アインシュタイン伝』改造社 1934 <https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1874426/6>

p5 のカラー写真 撮影：雨宮美穂

今日も広報誌で ふるさとへ



国や自治体などの公的機関は、出版物を国立国会図書館に納本するように「国立国会図書館法」第24条・第24条の2で義務付けられています。その対象となる出版物のうち、雑誌・新聞を収集し、記録して、書架に届けることが、私たち「逐次刊行物・特別資料課受入係24条担当」の役目です。受け入れる資料は議会会議録のような堅いものから公民館だよりのように身近なものまで多種多様です。

24条担当の毎日の中で、ひそかに楽しみにしているのが自治体広報誌の到着です。広報誌って、予防接種のお知らせとか年末年始のゴミの捨て方とかが載ってるあれでしょ？ そう、それです！ 悔るなかれ広報誌。都道府県・市区町村合わせで2,000近くにのぼるほとんどの自治体が発行していますが、普通は、人生で手にする機会があるのはそのうちのほんのひと握りです。ところが「受入係24条担当」になると、全国各地の広報誌に出会うことができます。

毎日のように届く最新号を受け取り、書誌事項に変更がないかを確認しながら、システムに到着を記録します。おっと編集部署名が変わったのね、〇〇県営業部、凝ってるなあ。この村は来月からこの市と合併するのか、じゃあ村の名前で出す広報誌はこれが最後だね、ホロリ。アナタは初めま

してだね、来月も待っているよ。

そしてわずか十数ページの誌面には、そこで暮らす人たちの日常のかけらが散りばめられています。誕生日を迎えた赤ちゃんをお披露目し、お年寄りが100歳になったことを誌上で祝う。大河ドラマにあやかった街コン。地元名産食材を使ったレシピ。災害や感染症の影響で学校行事や部活の大会がなくなった子どもたちの表情。農家の方へのインタビュー。村の歴史を振り返る特集。まさに住民一人ひとりが主役です。

これらを1冊1冊チェックして、届いていない号があれば発行元の自治体に納本をお願いします。だから受入係の電話口では毎日色々な土地の方言が響きます。

永久保存されることで、普通の人たちの普通の暮らしを未来に伝える役割をも担う広報誌。目の前をあわただしく行き交う、ここで出会って少しだけ親近感を持った知らない土地の広報誌に、「また来たね、今月も元気に発行されているね」と心の中で声をかけ、時には住民の皆さんの思いやかけがえない景色に涙ぐみながら（変な人だと思われているかもしれないけど）、今日もこの仕事ならではのワクワクと使命を噛みしめています。（逐次刊行物・特別資料課受入係24条のめじろん）



本をまもる

保存・修復の道具

② 塗る、はる



国立国会図書館では、所蔵する資料の永続的利用を保証するために、デジタル化などの媒体変換、防災、保存環境の整備、修復といった様々な保存活動を行っています。

その活動で大きな役割を担うのが、収集書誌部資料保存課です。資料保存担当の専門職員が、専門的な判断と技術を必要とする補修・修復を資料の特性や状態に応じて行っています。また、書庫の環境管理や虫菌害対策などの業務にも当たっています。

資料保存課で保存・修復のために使用する「道具」にフォーカスをあてたシリーズ第2回。ほんの一部ではありますが、文化的資産を残していく活動の様子を垣間見ていただければと思います。

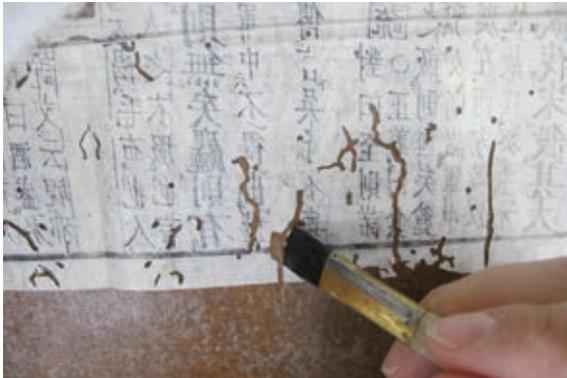
小刷毛

残念ながら、作り手の職人さんが亡くなり、もう購入することができないため、今あるものを大切に使っています



一見筆のようですが、大変小さな平たい刷毛で、でんぷん糊をつけるために使用します。馬の毛でできています。もともとは虫食い穴を補修する作業のために考案されたものです。
毛に適度な腰があり、柄も平らで薄くて持ちやすく、大変使い勝手がよいので、虫食い穴の補修はもちろん、様々な細かな補修作業に使用しています。

● いろいろな用途に使います



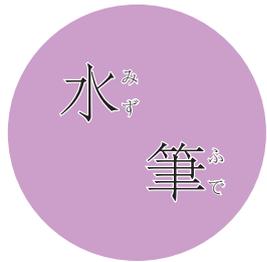
虫食い穴の周りに糊をつけているところです。



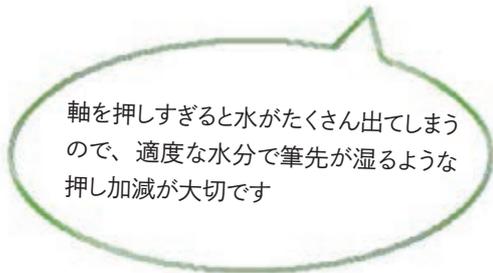
資料の破れの部分に糊をさしています。



資料によっては、でんぷん糊以外の接着剤を使用する場合があります。その際は、一般的に市販されている絵の具用の筆を使用しています。



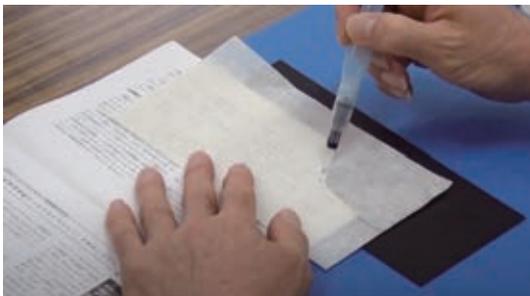
本来は軸の部分に水を入れて使う水彩画用の筆ですが、和紙をちぎるときや、折り癖を直すために折れた箇所少量の水分を与えるときに使います。



軸を押しすぎると水がたくさん出てしまうので、適度な水分で筆先が湿るような押し加減が大切です

たとえば、和紙をちぎるとき

資料の欠けている部分を和紙で補填する際に、和紙の切り口にケバ（和紙の繊維）を出すと、貼った時に資料になじみやすく、また貼った部分の段差を目立たなくさせるという効果があります。

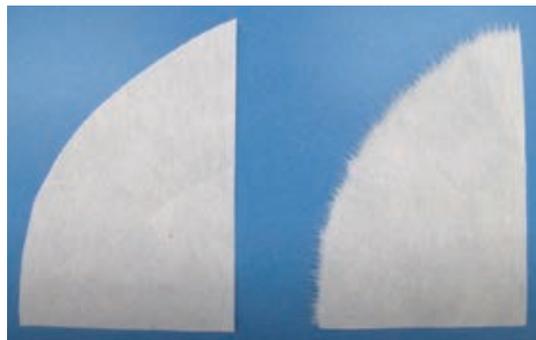


角の欠けている部分に和紙を重ねて、欠けた部分より少し大きめに、水筆で線を引きます。



水で引いた線が乾かないうちに、和紙を横に引っ張るようにしてちぎっていきます。

(左) カッターで切った和紙。
(右) 水筆でケバを出すようにしてちぎった和紙。



遠隔研修「動画で見る資料保存：簡易補修」より
<https://www.ndl.go.jp/jp/library/training/remote/minorrepair.html>

糊のり 盆ぼん



糊を溶くために使用する容器です。木製のものとは桶と同じ作りで、銅のタガがはまっています。資料によっては、でんぷん糊以外の接着剤も使用することがあるため、ステンレス製のバット（浅い箱型の容器）も併用しています。

糊のはなし

でんぷん糊は、糊の粉に水を混ぜて、鍋で煮て作ります。防腐剤などの添加物が入っていないもので、伝統的に使われているものです。



糊の粉と水を混ぜて、IHヒーターで熱していきます。はじめは白濁した液体ですが、数分すると一気に固くなります。木製の棒を使って手を止めずに高速で攪拌し続けると、透明感とつやが出てきて、粘着力も増します。



濾した糊です。作業に応じて、水で薄めて使います。



右側のタッパーに入っているものが、出来上がった糊です。使う前に濾して滑らかにします。

刷^は毛^け いろいろ

糊^{のり}刷^ば毛^け



広い範囲に糊を塗るために使う刷毛です。いろいろな種類があります。

右はプラスチック製です。資料によってはでんぶん糊以外の接着剤も使用するため、手入れのしやすい、柄がプラスチック製の刷毛を使用することが多いです。毛の部分は豚毛です。

真ん中は馬の尻尾の毛が使われています。和紙の裏打ち紙（裏打ち）については23ページ下参照）に糊を塗るときなどに使います。左にある一回り小さい刷毛は、「切継ぎ刷毛」という刷毛です。同じく馬の尻尾の毛が使われていますが、毛が短く、量も少ないので、細かいところに糊を塗るときに使います。



糊刷毛で和紙の裏打ち紙全体に糊をつけているところ。



製本用クロスに糊刷毛で糊を塗っているところ。

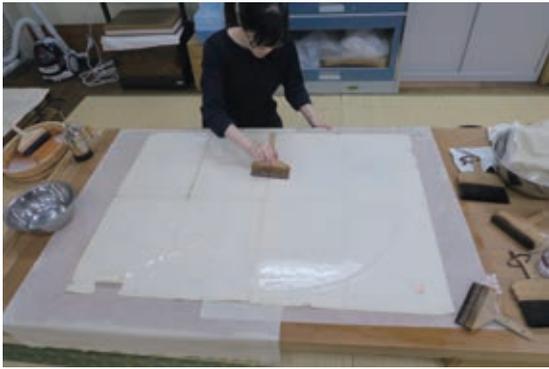


切継ぎ刷毛で細かいところに糊を塗っているところ。



本の背の部分に糊刷毛で接着剤を塗って、背を固めているところ。

水^{みず}刷^ぼ毛^け



地図を水刷毛で湿らせて、伸ばしているところです。紙は湿らせると伸びる性質があります。



紙などに水分を与えるために使用する、鹿の毛でできた刷毛です。一本一本の毛の内部がストローのように空洞になっており、水の含みが良いのが特徴です。

主に、裏打ち（次ページ下参照）をするときに、資料のしわ等を伸ばすために使用します。

なぜ^{なぜ}刷^ぼ毛^け



裏打ち紙を置きながら、山羊毛のなぜ刷毛で撫でてなじませます。

「なぜ」は「Why」ではなく、「撫ぜる（撫でる）」です。



裏打ちをする際に裏打ち紙を撫でて接着させるために使う刷毛です。なぜ刷毛にも種類があります。

右の刷毛に使われている白い山羊毛は、とても柔らかい毛です。薄い和紙の裏打ち紙がしわにならないように、山羊毛のなぜ刷毛でやさしく撫でて資料になじませます。

左の刷毛に使われている黒い毛はツグ毛（ヤシ科の植物繊維）で、硬く、よくしなります。山羊毛のなぜ刷毛でなじませたあと、ツグ毛のなぜ刷毛で裏打ち紙を撫でて、裏打ち紙をしっかり貼り付けます。

打ち刷毛



厚みがある刷毛なので、上から掴むように持ちます。



打ち刷毛を下から見ると、平らになっています。この平らな面を使って、叩きます。叩く場所を少しずつずらしながら、打ち進んでいき、裏打ち紙全体をまんべんなく叩きます。



裏打ち紙の上でこの刷毛を上
下させて打ちつけるため、「打ち
刷毛」と呼ばれます。

黒い毛はツグ毛とシユロ毛
(ヤシ科の植物繊維でツグ毛より
やわらかい)です。縦の長さは
23・5 cm、幅は14・5 cm、厚み
は一番厚いところで4 cmあり、
大変大きな刷毛です。

この刷毛は、古糊ふるのりを使う裏打
ちの際に使います。古糊とは、
でんぷん糊を甕かめなどの中で10年
程度寝かせて接着力を弱めた糊
です。接着力が弱いと柔らかく
仕上がるので、卷子や掛軸を仕
立てる際には、古糊が使われま
す。

接着力が弱い糊のため、普通
の糊を使う時と同じように裏打
ちをした後、さらにこの刷毛を
使って裏打ち紙を叩いて密着さ
せます。

裏打ちと刷毛

水刷毛で資料に水分を与える

糊刷毛で裏打ち紙に糊を塗る

裏打ち紙を資料に貼り、なぜ刷毛で撫ぜる

(古糊の場合は打ち刷毛で叩き、もう一度なぜ刷毛で撫ぜる)

仮張りに張る (次ページ参照)

紙や布の裏面に和紙をで
んぷん糊で貼り付けて、
丈夫にする「裏打ち」。そ
の工程ではここでご紹介
したいろいろな刷毛が活躍し
ます。



なぜ刷毛で裏打ち紙をよく撫ぜて、資料にしつ
かり貼り付けている様子です。

仮張り



裏打ちした紙や布を一時的に張り付け、平らに乾燥させるための道具です。

中は障子のような杉材の棧になっており、その表裏に細川紙、石州紙などの丈夫な和紙を何層にも張り重ね、最後に表面に柿渋を塗って仕上げます。

柿渋を塗ると、表面が硬化し丈夫になり、防水（撥水）効果を持ちます。これにより、張ったものが剥がしやすくなります。

ちなみに、見た目と違ってとても軽く、一人でも軽々持ち運べます。

● 使い方



裏打ちした地図を、いったん乾かした後、霧吹きで軽く湿らせます（湿らせると紙が伸びます）。



周囲の余分な裏打ち紙にだけ、糊をつけます。



張りこみます。乾くと同時に、ピンと張って、まるでアイロンをかけたように、平らになります。

よく乾かした後、周囲をはがし、余分な裏打ち紙を切って、出来上がりです。

● 作り方



仮張りの骨。



骨に最初の和紙を張っているところです。この後何枚も重ねます。



屋外で柿渋を塗っているところです。

※ここにあげた道具とその使い方はほんの一例です。

本屋に

ない

本



飛脚問屋嶋屋佐右衛門 日記の世界

物流博物館 編 利用運送振興会
2017.10 64p ; 30cm + 1枚
<請求記号 DK321-M7>

※表紙掲載画像：郵政博物館収蔵

「飛脚」と聞くと、棒付きの状箱を肩に担いで走りゆく姿を想像する方も

多いだろう。しかし、実際の飛脚は騎乗して荷物を運搬することも多く、その荷物も手紙、現金などと多様であった。当時こうした飛脚は当たり前存在だったため記録が少なく、その実像を明らかにできる史資料は大変貴重である。

本書の題名にある「嶋屋佐右衛門」は、大坂の著名な飛脚組合「手板組」が元禄14（1701）年に設立した江戸店の屋号である。現在の日本橋室町1丁目店舗を構え、その輸送網は東海道、上州、越後、東北に及び、東国において手堅く経営を拡大した。明治5（1872）年には他の飛脚問屋と

ともに陸運元会社（現在の日本通運株式会社の前身）の設立にも関与した。

本書は、2017年度に物流博物館で開催された展覧会「飛脚問屋・嶋屋佐右衛門日記の世界」の図録である。嶋屋の経営陣らが記したと見られる業務日誌「嶋屋佐右衛門日記」をはじめ、絵図、輸送用具などの多様な史資料が紹介され、近世の輸送ネットワークを担った人々の活動が克明に描かれている点が本書の魅力である。

第1章および第2章では、全国を結ぶ飛脚問屋の輸送ネットワークや荷物の輸送方法、嶋屋の組織・経営の概要が紹介されている。嶋屋の得意先がプロットされた地図や、重要な顧客である木綿問屋が賑わいを見せる大伝馬町の

の絵図は、嶋屋の経営規模や、江戸の繁栄を支えた飛脚問屋の物流業務の重要性を視覚的に伝えている。

第3章では、飛脚問屋の営業活動や輸送業務が紹介されている。得意先と良好な関係を保つために折に触れて進物を贈呈したり、旅行の見送りや出迎えに出向いたりしたほか、火事の罹災見舞いにもまで馳せ参じたという事例からは、顧客獲得・維持のために並々ならぬ営業努力が要求されることは今も昔も変わらないことがうかがわれる。

第4章では、飛脚問屋の業務に関する様々な事件が紹介されている。中でも目を引くのは、歌舞伎「上州織侠客大稿」の侠客国定忠治が飛脚宰領（輸送責任者）を刀で切り付けて大金を奪

うシーンを描いた浮世絵である。飛脚殺害はあくまで歌舞伎上の脚色と見られるが、当時飛脚は現金輸送のイメージで捉えられており、彼らが賊難や盗難の標的とされる事件は各地で発生していた。飛脚宰領には、こうした危難を乗り越えるだけの器量と頑健さが求められたのである。

なお、本展覧会は有志グループ『駅通志料』を読む会』による「嶋屋佐右衛門日記」の翻刻の完成を記念して開催されたものである。史料翻刻は歴史研究の基礎を築く営みであるが、決して一朝一夕に成るものではない。本書を読むにあたって、こうした地道な取り組みが背後にあることを忘れずにおきたい。（横山浩貴）

国立国会図書館は、法律によって定められた納本制度により、日本国内の出版物を広く収集しています。このコーナーでは、主として取次店を通さない国内出版物を取り上げて、ご紹介いたします。

国立国会図書館で働いています

Season2

no.1

図書維持
きたも
てから
されたい
愛されたい
長く、を
館を、い
して



管理課施設運用係長ってどんなお仕事をするんですか。

建物の機械設備全般を担当しています。例えば空調とか、トイレとか。保守は業者さんに委託しているのですが、その発注とか管理、調整。それから、今はちょうど国土交通省に支出委任して空調設備とトイレの改修工事を行っています。

業者さんや国土交通省との間に立って調整しているんですね。

こちらの要望を伝えたり、この建物に合わせた工程をお願いします。技術の専門職ではありますが、パソコンを使ってする仕事が多いので、事務仕事とそんなに変わらないですね。

とはいっても、何をやっているか理解できてなきやいけないですよ？ 発注するために図面を描いたりとかは、みんなできますよ。

図面を描く！

仕様書は図面付きなので。制御回路の図を見てここをこう動かす、とかはわかりますよ。

おお。係の中での担当ってありますか？

一応あります。建物の保全、エレベーター、書籍搬送、あと正式な名前前は長いんですけど、いわゆる害虫駆除、ビルにいる衛生害虫とか。東京本館だけじゃなくて国際子ども図書館も守備範囲です。

技術専門職の方は資格をお持ちと聞いたのですが。

僕は国際子ども図書館の電気主任技術者を担当しています。あとは東京本館の建築物環境衛生管理技術者。建築物衛生法という法律があって、ある一定の大きさの建物には必要なんです。あとはそれぞれの仕事に必要な資格ですね、消防設備士とか、電気工事士。高圧ガスを取り扱っているので高圧ガス取扱責任者とか、下水排水処理施設の管理もしている

ので水質管理責任者とか。

ひょっとして、全部の資格を持っているんですか？

はい。国家資格で業務に必要な資格は全部。管理課員はみんな頑張ってます。費用も1回目だけは公費です。落ちたら自前(苦笑)。だいたい国の建物には僕らみたいな人がいて、どこでも同じようなことやっているといます。だからつぶしがきく(笑)。

図書館ならではの苦労ってありますか？

工事を休館日や夜間にしかできない

島村 高平 総務部 管理課 施設運用係長

平成 14 (2002) 年 4 月	総務部	管理課	設備係
平成 21 (2009) 年 4 月	総務部	管理課	施設運用係
平成 25 (2013) 年 4 月	総務部	管理課	設備係長
平成 28 (2016) 年 4 月	総務部	管理課	施設運用係長

(1) 主に数年にわたる大規模な工事等は国土交通省に支出委任して工事を行う。

(2) 関西館の設備関係は関西館総務課が担当。

ことですね。2年前に雑誌カウンターの書籍搬送機を全部入れ替えたのですが、どうしても停止期間が1か月くらい必要なので、片側ずつ止めて、年末年始を使い工事を行いました。年初に閲覧の業務ができないとまずいので、年末年始みんなで交替で出勤して、進捗を管理しました。

あとは書庫の温湿度管理ですね。自動では全部はできないので、細かい調整をします。季節でも変わってくるし、一方で省エネも推進しなくちゃいけないし。

書庫の中にはセンサーがあって、24時間365日、データを取り続けているんです。それを資料保存課に送ってグラフにしてみました。ここは湿度が高いから、もうちょっと空調の調整をやらなきゃいけないかも、とかいろいろ細かく調整しています。

そういう意識って年々高まっていますね。

僕が入館した頃は「空調、動かしときゃいいよ」って感じでしたけど(笑)、今はそうじゃない。逆に可視化できちゃうから、データがいっぱ

い出てくるんですよ。管理課の事務室にもモニタリングできるように設備を入れてあって、気になった時は見えます。国際子ども図書館もそうしてあって、東京本館の事務室から電話で指示を出すんです。

新館の書庫もそうなんですけど、湿度の管理がしにくいところって消防設備が多くて。煙を逃がすところは塞がないので、比較的ゆるくなってる、そういうところがどうしても湿度が高くなっちゃうんです。その影響をなんとか少なくしようというのを、最近ずっとやっていますね。

科学ナントカ隊みたいな感じですね。

今は新館2階の閲覧スペースの天井の改修をやっています。東日本震災のとき、天井が落下した施設が多くあったので、ある程度の強度がないものは改修するようにと法改正されています。その工事のためには足場が必要なので、閲覧端末を全部移設してスペースを作らなくちゃいけません。その調整も管理課がやってます。天井改修のために空調運転を止めざるをえない部屋が発生したので

すが、別の場所から仮設で空調を接続したりとか。そういう、見えないところで、影響が出ないように、というのをいつもやっていますね。

閲覧スペースだと、担当の部署との密なやりとりが必要そうですね。

でも管理課が先に「これは閲覧に影響が出るから、ほかにやり方はないのか」というのを検討します。どうしてもダメな時は閲覧担当部署に相談する、という感じですね。

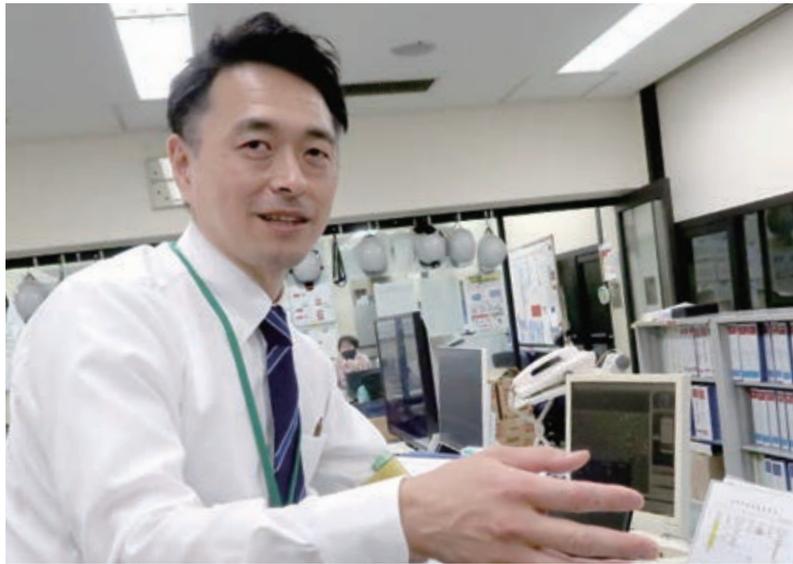
閲覧担当部署に所属したことがなくても、わかるんですね。技術職は原則ずっと技術職としての採用ですが、ちよつと異動したいな、と思うことはありますか？

前はありませんけど、所属としては、ずっと同じ部署にいますので、新しいことはずっとやっていて、今改修しているトイレーつとつても、最新のものです。



ごく節水型になっています。タンクを背負っているの、その分、配管が細くできて、細いと工事費下がるし、レイアウトが自由にきくとか、いろいろあるんです。

情報はどうやって集めるんですか？
どの仕事もみんなそうだと思うんですけど、ほかのところに行ったり。あとは工事業者さんに聞いたりとかですね。今だったらトイレの改修工事をしている工事業者に、ほかの現場で入れた設備や改修工事なんかを教えてくださいます。こういう設備入れたことありますか？とか。



勉強熱心ですね。特に思い出深い工事はありますか？

国際子ども図書館のアーチ棟を新しく作る時、設計の会議とか、工事とか、全部関わっていたんですけど、新しいものをみんなで作っていく、いろんな人が意見出して話し合っ作っていくっていうのはとても魅力

がありました。

建物の外側だけ決まっていた、中身を決めていく段階からだったので、管理課だけじゃなくて、国際子ども図書館の要望を取り入れながら。ああいう意匠に凝った建物っていうのは、箱を作ってスポツと入れればいい、ってわけにもいかななくて。

カーブしてますし。

天井の斜めのこの角度がどうかとか。見た目に圧迫感が出ないように調整するとか。使い勝手の方を優先したいんですけどね。そうそう、東京本館でも関西館でも採用していないものを導入しましたよ。シート状の防火シャッター、普段は隠れて見えななんです。そういう努力はすごいありますね。

そもそも管理課のお仕事は、みんなの気付かないところでバッチリやってくれているっていうものですね。

◆ ◆ ◆
◆ ◆ ◆
◆ ◆ ◆

もともとこういうお仕事をしたいと思ってたんですか？
専門学校先生に「募集してるから行ってみれば？」って言われて、ろ

くに調べないで受けちゃったんです。

えー！

ほかも受けてないんです。僕、高校卒業後に民間で働いてて、その後、専門学校に行ってたんですけど、まだ学校にいるつもりだったのに受かったって、「夜間に学校行きながらでいいです」って言われたんで、じゃあって（笑）。もともと高校も電気で、働いてたときも専門学校も電気関係ではありました。

ということは、ずっと電気LOV E？

どうなんでしょうね。あ、でも、その後働きながら大学も電気で行ってます。20代、30代前半まで、資格も含めてずっと勉強してましたね。一応1回勉強したら、もう少し先までやっておこうって。

えらい！ テレビやパソコンを組み立てられると聞いたのですが？

テレビは組み立てられないけど、パソコンは組み立てられます。自作パソコンって一つのジャンルなんですよ。スペックが高いやつを安く作れ

るので。動画編集とか、音楽編集したりするのが趣味なので。

ご自身で撮ったり演奏したものをミュージックビデオにするような？
そうです、そうです。ジャズギターをやってて、バンド組んでるんですよ。やっぱり音質良くしたい、画質良くしたいってなって。

小さい時から機械や電気が好きだったんですか？

小学3年生の誕生日にラジコンを買ってもらって、自分で組み立てました。でも友達でそんなことやっているやついなかったです。

（笑）その時目覚めちゃった？

そうかもしれないです。今はギターの部品替えたりとか、ちょっと改造したり。いつか全部自分で作ってみたいなと思っています、ギターを一本。

えっ、本体は木から切り出すんですか。もはや電気ではなく……

木工です。でも、中は電気で配線。家にはガラタとかよくわかんない線がいっぱい（笑）。家族には無視

されてますが、でも恩恵は受けていないと思います。資格もあるから、家で何か電気関係のものが壊れても直せて、修理代はかからない。

それは重宝されますね(笑)。動画と言えば、職員向けの内部広報「管理課通信」にも動画がありますね。

2、3年前かな、ほかの部署にもっと管理課の仕事を知ってもらおうっていう機運があって、バックヤードツアーといって職員でも普段は入れない機械室とか屋上を案内する企画をやった。職員向けHPに載せる「管理課通信」も始まりました。動画は、電気設備の法定点検の様子を、誰からも頼まれてないけど勝手に(笑)、おまけで作りました。

法定点検って「なんで3日も電気設備を止めるの？」って思っていました。動画を見ていろいろ納得しました。あと、スポーツマンかどうかはありますが。

サッカーを学生時代からずっとやっています。今は全然。子どももサッカーやっているので、一緒にボール蹴るぐらいです。あと走ることに

家のまわり走ったり、職場から家まで走って帰ったり。

え、ちょっと待ってください、家まで……？

あ、でも、たったの8kmですよ。

8kmは「たったの」じゃないです(笑)。お子さんは機械や電気もお好きそうですか？

ちょうど小学3年生ですね。僕に似て彼も作るのがすごい好きなので、レゴでずっと遊んだり、僕が作ったパソコンでゲームやっています。ほかの子はみんな任天堂Switchとかかなんだけど(笑)。自分でYouTubeで調べてプログラム入れて何かやりますね。

へ〜〜！

あと、子育てと仕事の両立はできていけるかなって。朝ごはんを毎日作っているんです。早寝早起きなので。僕の味噌汁は、子どもの好きな食べ物のランキング2位だそうです(笑)。

いいですね。それでは最後に、今後、NDLはどうなったらいいと思いますか。

すか。

新型コロナウィルスのために、今、入館制限して、資料のデジタル化も頑張っているけど、入館者は極端には減らないですよ。ここに来て本を読みたくてニーズもあると思うんです。そういうのに対応するためには建物の維持管理って必要なこと。特に東京本館は建物が古いので、けっこう長く来てくださっている方もいると思うんですよ。長く愛される図書館というのを、ずっと維持したいなど。本館の目録ホールの回廊のところ、なんか落ち着くな、みたいながあると思うんですよ。

ありますね。

そういうところは大事にしながら、

新しいものを取り入れていきたいですね。あと、施設整備では小さな声も拾っていくことも大事です。今回トイレの改修で一か所だけ和便器を残したんですけど、「本場にありがとう」って投書に書いてくださる方もいて。そういう目配りもしていかなくちゃいけないと思っています。

これからも、見えないところでバツチリ、よろしく願います！



(上) 管理課ジャズバンド

(下) 息子さんがレゴで作った書籍搬送機。なんと、動きます！

(3) 電気事業法の規定により、電力会社からの受電が600Vを超える建物は電気設備の点検を年1回行う義務がある。

NDL Topics

臨時休館のお知らせ

館内サービスのシステムの切替準備のため、左記の日程で臨時休館いたします。

○関西館 令和3年11月15日(月) 及び16日(火)
○東京本館 令和3年12月27日(月)

詳しくは、国立国会図書館ホームページに掲載する予定のお知らせをご確認ください。利用者の皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

ミニ電子展示「本の万華鏡」英語版公開

「百貨店」や「化粧」等様々なテーマに沿って国立国会図書館の蔵書を紹介するミニ電子展示「本の万華鏡」の英語版を公開しました。1940年の東京オリンピックに焦点を当てた「The Lost Tokyo Olympics of 1940」や日本と関わりの深い流行り病を紹介する「Infectious Diseases in Books」を含む6テーマの英語版がご利用できます。日本語版同様にスマートフォンにも対応しております。ぜひご覧ください。
<https://www.ndl.go.jp/kaleido/e/index.html>



複写料金改定についてのご案内

令和3年10月1日(金)に複写料金を改定いたしました。

複写料金については、国立国会図書館ホームページでもご覧いただけます。

何卒、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

複写メニュー	色	サイズ等	改定後(円)	改定前(円)
電子式複写 「セルフ」は関西館のみのメニューです。	白黒	A4/B4	27.50 (25+税)	26.40 (24+税)
		A3	47.30 (43+税)	45.10 (41+税)
		A2	133.10 (121+税)	127.60 (116+税)
		セルフ A4/B4/A3	17.60 (16+税)	16.50 (15+税)
	カラー	A4/B4	104.50 (95+税)	100.10 (91+税)
		A3	127.60 (116+税)	122.10 (111+税)
電子情報等のプリントアウト 「遠隔」は、遠隔複写サービスでデジタルデータの印刷を申し込んだ場合の料金です。	白黒	A4/B4/A3	17.60 (16+税)	16.50 (15+税)
		遠隔A4/B4	27.50 (25+税)	26.40 (24+税)
		遠隔A3	47.30 (43+税)	45.10 (41+税)
	カラー	A4/B4/A3	39.60 (36+税)	38.50 (35+税)
		遠隔A4/B4	63.80 (58+税)	61.60 (56+税)
		遠隔A3	110.00 (100+税)	105.60 (96+税)
発送事務手数料		国内1発送につき	275.00 (250+税)	220.00 (200+税)

○問合せ先
利用者サービス部 複写課
電話 03(3581)2331(代表)

第23回国書館総合展2021「ONLINE_plus」に参加します

11月1日(月)から11月30日(火)まで、ウェブサイトと小会場群をつなぐハイブリッド形式で開催される「第23回国書館総合展2021「ONLINE_plus」」に、国立国会図書館も参加します。

図書館総合展のウェブサイトで、国立国会図書館の様々なサービスをご紹介します。また、期間中に次のフォーラム(オンラインイベント形式)を開催します。

フォーラム「デジタルシフトの先には：国立国会図書館ビジョン2021-2025と全国の図書館」(仮)

○日時 11月10日(水) 14時～15時30分

○講師

吉見俊哉氏(東京大学大学院情報学環教授)

田中久徳(副館長)

大場利康(電子情報部長)

上保佳穂(総務部企画課長)

○お申込みは10月中旬から国立国会図書館ホームページにて受け付けます。ホームページの「イベント・展示会情報」をご覧ください。

○問合せ先 総務部総務課 広報係

電話 03(35581)2331(代表)

第23回国書館総合展2021「ONLINE_plus」(主催：図書館総合展運営委員会)

・期間 11月1日(月)～11月30日(火)

・会場 図書館総合展公式ウェブサイト/サテライト会場

第14回科学技術情報整備審議会

8月4日、第14回科学技術情報整備審議会がオンラインで開催され、審議会委員10名のほか、館長、副館長、幹事等職員16名が出席しました。

当館から「第五期国立国会図書館科学技術情報整備基本計画」の策定について、また関連して「国立国会図書館ビジョン2021・2025—国立国会図書館のデジタルシフト」と「国立国会図書館のデジタルシフトに関する最近の動向」について報告しました。

その後、「第五期国立国会図書館科学技術情報整備基本計画」について、またビジョンを踏まえた今後5年間の国立国会図書館の取組について、各委員から感想や意見が述べられました。主な意見は次のとおりです。

・審議会からの提言(本誌2021年4月号参照)の趣旨を踏まえた計画が策定されている。

・図書館の役割や在り方が転換期を迎えている。国立国会図書館のデジタルシフトが広く認知されるよう、アウトリーチにも積極的に取り組んでもらいたい。

・オンライン資料の制度収集など、今後の国立国会図書館の活動について期待を持って注視したい。

科学技術情報整備審議会委員名簿

(五十音順 敬称略)(令和3年8月4日現在)

委員長

西尾 章治郎 大阪大学総長

委員長代理

竹内 比呂也 千葉大学副学長

委員

石田 徹

日本商工会議所専務理事/専門図書館協議会理事長

喜連川 優

情報・システム研究機構国立情報学研究所長/東京大学特別教授

児玉 敏雄

日本原子力研究開発機構理事長
文部科学省大臣官房審議官(研究振興局及び高等教育政策連携担当)

坂本 修一

東北学院大学文学部教授

佐藤 義則

国際医学情報センター理事長

戸山 芳昭

科学技術振興機構理事長

濱口 道成

東京大学大学院総合文化研究科・教養学部教授

藤垣 裕子

情報通信研究機構NICTナレッジハブ・研究統括 ナレッジハブ長

村山 泰啓

人間文化研究機構国文学研究資料館長

渡部 泰明

* 審議会に関する情報は、左記に掲載しています。
ホームページ紹介/資料の収集/科学技術情報整備/科学技術情報整備審議会
<https://www.ndl.go.jp/collect/tech/council/index.html>

NDL Topics

新刊案内

令和2年度国際政策セミナー報告書

「危機の時代における英国の議会政治」

危機の時代における議会の役割 英国政治の課題—
二つの危機と英国の議会政治 英国は政府優位のシ
ステムか？



A4 46頁 不定期刊
ISBN 978-4-87582-883-9
以下のURLからPDFファイルをご覧
いただけます。
[https://dl.ndl.go.jp/view/download/
digidepo_11704857_po_202102.
pdf?contentNo=1](https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_11704857_po_202102.pdf?contentNo=1)

令和2年度国際子ども図書館児童文学連続講座講義録

「10代に手渡す物語—ヤングアダルト文学総論」

21世紀の英米ヤングアダルト文学—物語がもつ力と
危険性
ヤングアダルト書籍としてのライトノベル
現代日本児童文学と「ヤングアダルト文学」
英語圏のヤングアダルト文学と図書館活動
国際子ども図書館の中高校生向けサービス



A4 150頁 年刊 1,980円(税込)
発売 日本図書館協会
ISBN 978-4-87582-884-6

レファレンス 848号

ふるさと納税の受入れに伴う自治体財政の効率性へ
の影響—「財政錯覚」を背景とした技術的効率性
の低下の観点から—

農地の権利を取得して農業経営を行う法人の制度的
枠組み—変遷と課題—(資料)

地方議会議員の職務と家庭の両立—我が国及び諸外
国の地方議会における出産・育児に係る取組—

国内外における夫婦の氏に関する制度と選択の状況

法人税の抜本的改革の類型と事例—キャッシュフ
ロー法人税、ACE、CBIT、DBCFIT—(資料)



A4 147頁 月刊 1,100円(税込)
発売 日本図書館協会

カレントアウェアネス 349号

図書館をテーマにした同人誌即売会「としよけつと」
の開催から

公立図書館における補助金・交付金の活用

日本の機関リポジトリにおけるPDFファイルの長
期保存とアクセシビリティ

DORAから「責任ある研究評価」へ…研究評価指
標の新たな展開

「国立国会図書館書誌データ作成・提供計画2021
-2025」の取組事項

標の新たな展開

「国立国会図書館書誌データ作成・提供計画2021
-2025」の取組事項

「国立国会図書館書誌データ作成・提供計画2021
-2025」の取組事項

▶動向レビュー

図書館を内側から問いなおす—米国社会とライブラ
リアンシップのゆくえ—



A4 24頁 季刊 440円(税込)
発売 日本図書館協会

入手のお問い合わせ

日本図書館協会

〒104-0033 東京都中央区新川1-11-14

電話 03(3523)0812

10

NATIONAL
DIET
LIBRARY
MONTHLY
BULLETIN
2021.10

NO.726

OCTOBER
2021

CONTENTS

- 01 <Book of the month - from NDL collections>
Onimomotaro—Children's literature by OZAKI Koyo in his younger days
- 05 In pursuit of foreign books (Part One)
How were foreign books collected in the Imperial Library?
- 17 Protecting our books—Tools for preservation and restoration
(2) Applying and sticking
- 26 Working at the NDL, Season 2 Episode 1
- 16 <Tidbits of information on NDL>
Through PR magazines, thinking about various local communities
- 25 <Books not commercially available>
Hikyaku don'ya shimaya saemon nikki no sekai
- 30 <NDL Topics>

国立国会図書館月報

令和3年10月号 (No.726)

令和3年10月1日発行

発行所 国立国会図書館

編集者 松浦茂

印刷所 株式会社丸井工文社

〒100-8924 東京都千代田区永田町1-10-1
電話 03 (3581) 2331 (代表)
FAX 03 (3597) 5617
E-mail geppo@ndl.go.jp
<https://www.ndl.go.jp/>

本誌に掲載した論文等のうち意見にわたる部分は、それぞれ筆者の個人的見解であることをお断りいたします。
本誌に掲載された記事を全文または長文にわたり抜粋して転載される場合には、事前に当館総務部総務課にご連絡ください。
本誌517号以降、PDF版を当館ホームページ (<https://www.ndl.go.jp/>) >刊行物>国立国会図書館月報でご覧いただけます。

Aus $y_{xx} y^{**} = \delta_x^2$
 folgt ferner durch Differentiation
 (10) $\left\{ \begin{array}{l} \text{bzw. } y_{xx} dy^{**} = -y^{**} dy_{xx} \\ y_{xx} \frac{\partial y^{**}}{\partial x_2} = -y^{**} \frac{\partial y_{xx}}{\partial x_2} \end{array} \right.$
 Durch gemischte Multiplikation mit y^{**} bzw.
 hieraus (bei geänderter Bezeichnungsweise die
 (11) $\left\{ \begin{array}{l} dy^{**} = -y^{**} y_{xx}^{-1} dy_{xx} \\ \frac{\partial y^{**}}{\partial x_2} = -y^{**} y_{xx}^{-1} \frac{\partial y_{xx}}{\partial x_2} \end{array} \right.$
 bzw.
 (12) $\left\{ \begin{array}{l} dy_{xx} = -y_{xx} y_{xx}^{-1} dy_{xx} \\ \frac{\partial y_{xx}}{\partial x_2} = -y_{xx}^{-1} \frac{\partial y_{xx}}{\partial x_2} \end{array} \right.$

NATIONAL
 D I E T
 LIBRARY
 MONTHLY
 BULLETIN
 2021.10

 国立国会図書館
 National Diet Library, Japan

図

国

国

冊

人

六